

政策会議報告書

平成30年4月24日

報告者 健康推進部長

件名	「節薬バッグ事業」の効果・実績について		
要旨	<p>平成29年6月1日から9月30日の期間で実施した本事業について、明治薬科大学へ事業で得られた調査データの分析を依頼していましたが、この度、大学から報告があり、それに基づき以下のとおり検証しましたので、お知らせします。</p> <p><u>(1) 参加希望者の68.9%に何らかの残薬が発生</u> 事業への参加希望者132人のうち、残薬のある患者は91人となり、参加希望者に占める68.9%の方に何らかの残薬が生じていたことがわかりました。このうち、残薬調整を行った患者は61人であり、参加希望者の46.2%でした。 残薬の発生者については、1人平均で内服薬は2.8種類、平均30.1製剤単位（錠剤であれば錠、散剤であればグラム、液体であればml等）の残薬が発生していました。</p> <p><u>(2) 平均約2,936円/人の残薬調整（薬剤費削減）が実現</u> 残薬調整をした61人の調整薬価総額（薬剤費の削減額）は179,105円であり、一人平均では約2,936円の削減額でした。 残薬はあるものの調整しなかった方のうち、薬価等が推計可能な20人について分析したところ、仮に調整がされた場合の削減見込み額として87,004円、一人平均約4,350円という金額が算出されました。 このため、薬価等が推計できる81人について、仮に残薬が全て調整された場合で試算すると、薬剤費の削減総額は266,109円、一人平均約3,285円と推計できます。</p> <p><u>(3) 事業の参加者は満足度が向上</u> 参加者アンケートでは、本事業の参加前と参加後の「かかりつけ薬局の相談のしやすさ」並びに「総合的な体調に係る度合」を比較すると、相談後は満足度が向上しています。 相談により、薬局への認識や自己の体調への認識が改善・向上していることが見てとれます。</p>		
所管名	健康推進部 国民健康保険課	電話番号	04-2998-9131

※ 会議の7日前までに関係資料を添え、32部提出してください。

※ 報告書（関係資料を除く）のデータもメールで送付してください。